月々600円で、退職時全額返金の
総合共済へ
うれしい給付がいっぱい
結婚　１万円　　出産　５千円
結婚記念日　２万円　など

泉北教育

NO.2042 2016.5.16.
発行　泉北教職員組合
〒594-0071　和泉市府中町6-12-2
TEL0725-41-1953 Fax0725-44-6570
E-mail senboku@gf6.so-net.ne.jp

実現しよう！ 35人学級

かがやけ！みんなのえがお 署名にご協力を！

国の責任による35人以下学級は、小学校1・2年生に広がりましたが、未だ、小学校3年生以降への取り組みは進んでいません。

しかし、多くの地方自治体では、父母、地域住民、子どもたちや教職員の願いをもとに少人数学級の前進を独自ですすめています。

その結果、少人数学級の実施によって、子どもたちにより行き届いた教育ができるようになってきています。

ただ、このまま自治体の努力に任せるのであれば、自治体間格差が拡大し、教育の機会均等を保障することが困難になることは明らかです。

教育の無償化をすすめよう！

貧困と格差の拡大が家庭を直撃しています。とりわけ「子どもの貧困率」は、16.3%になり、6人に1人は貧困の中で生活をしています。学びたくても学費が払えずに退学したり、進学をあきらめたりする子どもたちや、「視力が悪くてもめがねを買うお金がない」「電車賃を払えず学校に行けない」という子どもたちがいます。

教育の機会均等を保障し、教育費の無償化をすすめるためにも、「就学援助制度」の充実と高校生への拡充、高校生・大学生への国庫負担金の復活や高校生への「給付制奨学金制度」の創設が求められています。

国の責任で誰もがお金の心配なく安心して学べるようにすべきです。

広げよう！えがお署名

子どもたちのえがおがあふれ、豊かな学びができる学校づくりをするため2017年度政府予算にむけた文部科学省概算要求に対する要請署名を広げましょう。

えがお署名にご協力ください。

えがお署名の主な内容

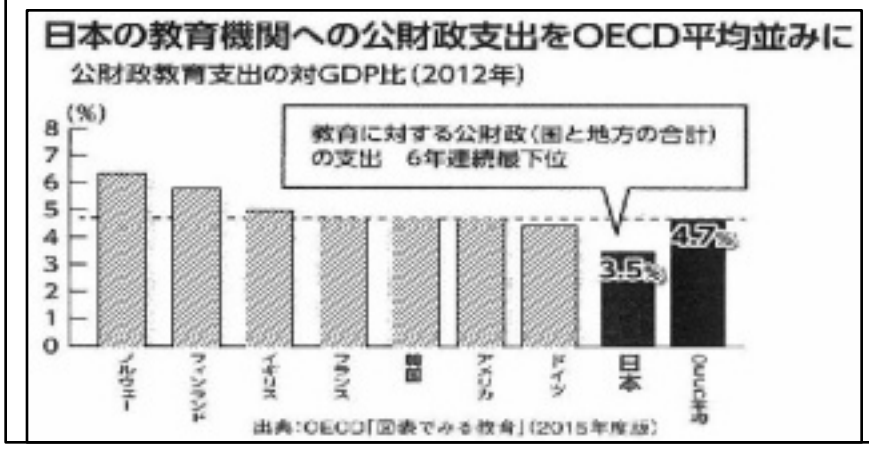
①国の教育予算がOECD諸国並みの水準となるよう、計画的に増額をはかること。

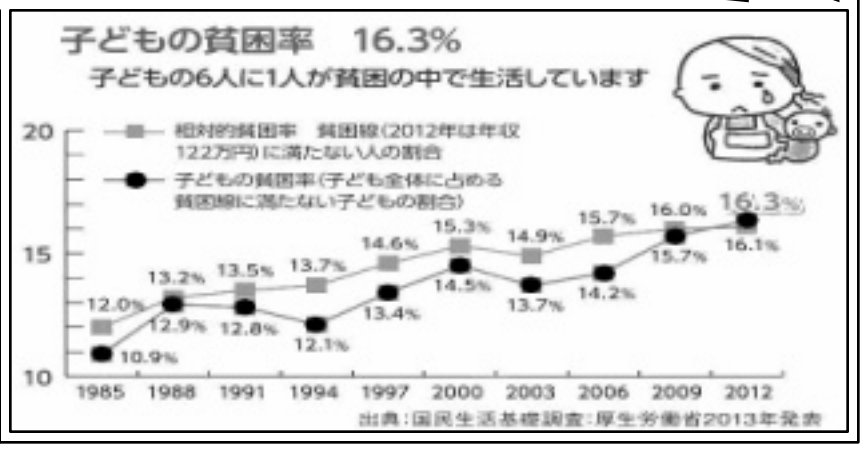
②国の責任で小・中学校および高校の35人以下学級を実現するために、教職員定数を計画的に改善すること。

③教育の機会均等を保障するために、「就学援助制度」の充実と高校生への拡充、高校生・大学生への「給付制奨学金制度」の創設をすること。

④「高校無償化」を復活し、公私ともに学費の無償化を前進させること。

⑤東日本大震災・福島原発事故被害から子どもを守り、学校と地域の復旧・復興をすすめること。





子どもたちのための最善の教育条件を確保するために泉北教組はがんばります。